

制御部のみの改修により、短工期・低コストを実現

4人乗り小形エレベーター制御リニューアル

Elemotion+
エレモーション・プラス for Compact4

を発売

三菱電機株式会社と三菱電機ビルテクノサービス株式会社は、既設の4人乗り小形エレベーター「Compact4（コンパクトフォー）」の制御部のみの改修により、短工期・低コストで安心・安全・快適性の向上を実現する新しいリニューアルメニュー「**Elemotion+（エレモーション・プラス）for Compact4**」を共同開発し、6月1日に発売します。

Elemotion+ for Compact4 の特長

1. 制御部のみの改修により短工期、低コストを実現

- ・改修工事による連続休止は3日から5日。一括改修工事（連続休止日数1ヶ月程度）に比べて、大幅に工期を短縮
- ・乗り場やかご室などは流用することで、一括改修に比べてコストを約40%以上削減

2. 乗り心地と使いやすさを向上

- ・インバータ制御方式の巻上モーターへの変更をはじめ、制御盤・制御ケーブル・かご操作盤・乗り場ボタンなどの制御部を一新することで、安心・安全と乗り心地を向上
- ・かご内戸閉ボタン・気配りアナウンスに加え、全階に乗り場インジケータを標準で装備し、使いやすさを向上

3. 建築基準法施行令に対応した機能を標準装備

- ・故障時でも確実にエレベーターを制止させて事故等を防ぐ「戸開走行保護装置」（国土交通大臣認定取得済）
- ・本震前の揺れ（初期微動/P波）を感知し最寄り階に着床する「P波センサ付地震時管制運転装置」
- ・停電時にバッテリーですみやかに最寄り階へエレベーターを着床させる「停電時自動着床装置」

発売の概要

| リニューアル対象機種 | 対象台数 | 基本仕様参考価格 | 販売目標 |
|---|--------|----------|--------------------|
| 1993年までに設置された三菱電機製巻胴式小型エレベーター「Compact4」 | 5,500台 | 390万円から* | 初年度（2012年度） 50台 |

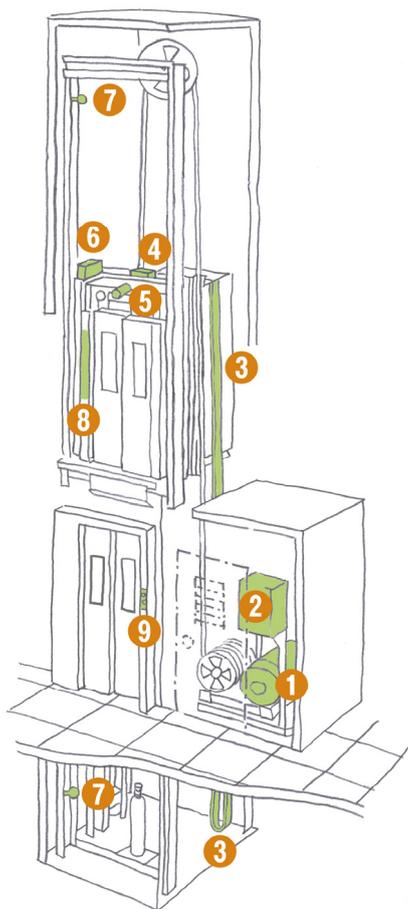
※積載量300kg・分速30m・5箇所停止の場合で、平日昼間施工、建築関連工事他付帯費用を除く

<報道関係からのお問い合わせ先>

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
電話 03-3218-2831 FAX 03-3218-2431
三菱電機株式会社 広報部

〒116-0002 東京都荒川区荒川七丁目19番1号
電話 03-5810-5280 FAX 03-5810-5277
三菱電機ビルテクノサービス株式会社 広報室

<リニューアルイメージ図>



■主な改修部分

- ①.巻上モータ
- ②.制御盤
- ③.制御ケーブル
- ④.かご上ステーション
- ⑤.ドアモータ
- ⑥.着床スイッチ
- ⑦.終点スイッチ
- ⑧.かご操作盤
- ⑨.乗り場インジケータ・乗り場ボタン

■「Compact4」の主な仕様

- ・巻胴式
最下階の機械室に設置された巻上機のドラム（巻胴）にかご室を吊り下げるロープを巻き取り・巻き戻すことでエレベーターを昇降させる方式
- ・4人乗り
- ・積載量 300 kg
- ・分速 30m（一部 25m）
- ・5箇所停止以下

「Elemotion+」ラインナップの拡大について

三菱電機株式会社と三菱電機ビルテクノサービス株式会社は、2001年に、業界に先駆けてロープ式エレベーターのリニューアル専用エレベーターを共同で開発し、三菱エレベーターリニューアル「ELEMOTION」の名称でリニューアル事業を展開し、今までに約17,000台の改修を行ってきました。

そして、2011年2月から、これまでに培った実績やノウハウをもとに、社会全体の強いニーズとなっている「省エネ」や「安心・安全」を実現できる新たな戦略商品として、ロープ式標準形エレベーターのリニューアル商品「Elemotion+」を後継機種として投入しました。

さらに、「Elemotion+」をオーダー形エレベーターに拡大（2011年7月発売）するなど、エレベーターリニューアルのラインナップ拡大を進めています。

発売の背景

4人乗りの小形エレベーター「Compact4」は、主に小規模なビルや集合住宅などに設置されており、1998年頃まで約7,000台が出荷されています。この内1993年までに設置された約5,500台が改修時期を迎えています。

これに対し、従来は一括改修でリニューアルを行ってきましたが、部分改修をご要望されるお客様に 대응するため、豊富な実績がある「ELEMOTION」で培った部分改修のノウハウを、小形エレベーターにも応用し、乗り場やかご室、かごレールなどの機器は流用し、巻上モータをはじめ、制御盤、制御ケーブル、かご操作盤、乗り場ボタンなど制御部のみを部分改修するリニューアルメニューを実現しました。

今回の小形エレベーター制御リニューアル「Elemotion+ for Compact4」をラインナップに加えることにより、設置後20年以上経過の三菱電機製ロープ式エレベーター（低速機種）約5万8千台をフルカバーする商品群が揃いました。今後、エレベーターリニューアルの需要拡大を背景に、これら商品群による積極的なリニューアル提案を進めていきます。

「Elemotion+ for Compact4」の特長の詳細

1. 制御部のみの改修により短工期、低コストを実現

・連続休止日数は最短3日

従来、「Compact4」を一括改修する場合の連続休止日数は1ヶ月程度必要でしたが、今回、改修工事における連続休止日数は3日から5日と大幅な短縮を実現しました。

・機器にかかるコストを約40%以上削減

乗り場やかご室、かごレールなどの機器を流用することで、一括改修に比べて、機器にかかるコストを約40%以上削減しています。

なお、既存建築物への負担（壁の加工や補修等）も必要最小限で済みます。

2. 乗り心地と使いやすさを向上

・制御部の改修で安心・安全対策と乗り心地改善

インバータ制御方式の巻上モーターへの変更をはじめ、制御盤、制御ケーブル、かご操作盤、乗り場ボタンなどを部分改修することで、安心・安全の向上に加え、乗り心地も改善されます。

・使いやすさを向上

乗車後すみやかに戸を閉めることができる「かご内戸閉ボタン」、押し忘れや災害管制運転時に音声でエレベーターの状況を教える「気配りアナウンス」、エレベーターの位置が確認できる「全階乗り場インジケータ」を今回新たに標準装備し、使いやすさを向上させています。

3. 建築基準法施行令に対応した機能を標準装備

・「戸開走行保護装置」（国土交通大臣認定取得済）を標準装備

駆動装置や制御器が故障状態となり、かごおよび昇降路のすべての出入口のドアが閉じる前にエレベーターが下降した場合、新規開発のシステムと非常止め装置で自動的にエレベーターを制止します。

・「P波センサ付地震時管制運転装置・EER-P(3段設定・リスタート機能付)」を標準装備

大きく揺れる本震（S波）の前に起こる初期微動（P波）をセンサが感知し、進行方向の最寄階に着床。一定以上の揺れの場合は、そのまま休止状態となります。

・「停電時自動着床装置 MELD（メルド）」を標準装備

停電などでエレベーターの中に人が閉じ込められた場合、自動的にエレベーターの状態を確認し、バッテリーですみやかに下方の最寄り階に着床します。

その他の特長

6種類のカラーバリエーションをオプションで用意

オプションで、LEDのかご室天井の照明器具を用意しました。また、乗り場ドアやかご内の壁・ドア、かご床タイルの意匠変更も可能で、ビルのデザインに合わせて6種類のカラーバリエーションを用意しています。

<お客様からのお問い合わせ先>

〒116-0002 東京都荒川区荒川七丁目19番1号

電話 03-3802-9532

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 昇降機事業本部 業務部

商標関連

- ・「ELEMOTION」（エレモーション）は、三菱電機（株）および三菱電機ビルテクノサービス（株）の登録商標です。
- ・「Elemotion+」（エレモーション・プラス）は、三菱電機ビルテクノサービス（株）の登録商標です。